

平成28年度 家庭教育に関する 調査研究報告書



栃木県PTA連合会

目 次

あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
I アンケート調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1 栃木県内25校のPTA会員向けアンケート・・・・・・・・	4
2 子育てセミナー2016参加者向けアンケート・・・・・・・・	5
II アンケート結果	
栃木県内25校のPTA会員を対象とした調査結果	
1 調査人数とお子さんの学年、お子さんの性別・・・・・・・・	6
2 お子さんは朝ごはんを食べますか・・・・・・・・	7
3 朝食を主に誰と一緒に食べますか・・・・・・・・	8
4 お子さんの平日の起床時間は何時が多いですか・・・・・・・・	9
5 お子さんの平日の就寝時間は何時が多いですか・・・・・・・・	10
6 PTAの取り組み事業として最も興味をお持ちなのは・・・・・・・・	11
(1) 基本的生活習慣・家庭教育について・・・・・・・・	11
(2) 携帯電話・インターネット・・・・・・・・	12
(3) 安全・安心・・・・・・・・	12
(4) いじめ問題・・・・・・・・	13
(5) 不登校・ひきこもり・・・・・・・・	14
III 「いい親の日」宣言・・・・・・・・・・・・・・・・	15
IV 子育てセミナー2016の参加者を対象とした調査結果	
1 講演の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	17
2 調査人数とお子さんの学年・・・・・・・・	18
3 お子さんは専用の携帯電話をお持ちですか・・・・・・・・	18
4 利用しているSNSや機能は何ですか・・・・・・・・	19
5 いつごろ持たせようと思いますか・・・・・・・・	20

あ い さ つ

栃木県PTA連合会長 渡 邊 宏 幸

はじめに、調査研究のためにアンケートへのご協力をいただきました県内の会員の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。本アンケートは、県内 25 市町の会員皆様並びに子育てセミナーご参加の方々に回答をいただきました。誠にありがとうございました。

「子育てセミナー 2016」は昨年に引き続き高濱正伸氏を講師に迎え「続・母親だからできること」と題してご講演をいただきました。参加者は、今までの子育てや、現在悩んでいる問題について共感をし、うなずきながら聞き入っておりました。さらに、終始笑いのなか真剣に耳を傾け講演者の話に引き込まれておりました。

参加いただいた会員の皆様には子育てに対する向き合い方、親としての学びなど参考にしていただけたと思います。

本アンケートにもあります問題点ですが、生活習慣の乱れが特に気になり残念です。急速に発達・普及したスマホ・インターネットなど使い方やルールづくりが今、とても大切です。子どもたちの健全育成には「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣がとても重要で、家庭でしっかりと身に付けさせたいものです。

家庭教育がすべての教育の出発点であり、私たちPTAは、基本理念「教育の原点は家庭にある」を常に意識し、学校教育や社会教育を通して子どもたちがいつでも安全で安心して生活をでき、心豊かに育つための生活環境や教育環境を良くするため力を合わせ、活動していきたいと思います。

栃木県PTA連合会のスローガンは「高めよう 家庭の教育力 学び合い 行動するPTA」です。これからも時代の変化や要求に対応した情報を収集し発信活動を実施してまいります。本報告書が今後の生活環境の改善・充実につながるようさまざまな場面での活用を期待いたします。

最後に、調査研究報告書の作成にご尽力いただきました本会の教育課題委員会の皆様をはじめ、関係各位に改めて深く感謝申し上げます、あいさつといたします。

I アンケート調査の概要

1 目的

栃木県PTA連合会の基本方針である「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせ、学校教育の更なる充実のために支援する体制を確立する」ために、状況を把握し、基礎資料として情報提供するとともに、保護者自らが子どもの生活習慣を振り返ることを目的とする。

2 調査対象者

(1) 平成28年度 栃木県PTA会員 協力25校

【調査協力校一覧】

宇都宮市立一条中学校
日光市立南原小学校
茂木町立茂木中学校
壬生町立藤井小学校
栃木市立都賀中学校
さくら市立氏家中学校
那須烏山市立南那須中学校
那須町立東陽小学校
足利市立山辺中学校

上三川町立明治中学校
真岡市立物部小学校
市貝町立市貝中学校
野木町立南赤塚小学校
下野市立国分寺西小学校
塩谷町立塩谷中学校
那珂川町立馬頭小学校
那須塩原市立共英小学校

鹿沼市立菊沢東小学校
益子町立益子西小学校
芳賀町立芳賀中学校
小山市立間々田東小学校
矢板市立矢板中学校
高根沢町立阿久津小学校
大田原市立佐久山中学校
佐野市立城東中学校

(2) 平成28年11月10日(木)開催「子育てセミナー2016」参加者

3 調査方法

調査票は、P4・5の2種類を使用

4 調査期間

平成28年11月

5 調査機関

栃木県PTA連合会 教育課題委員会

(1) 平成28年度 栃木県内25校のPTA会員に向けたアンケート調査票

問1 在学している一番下のお子さんについてお聞きします。お子さんは、何年生ですか？

小学校 ア 1年生～3年生（男 女） イ 4年生～6年生（男 女）

中学校 ア 1年生（男 女） イ 2年生（男 女） ウ 3年生（男 女）

問2 問1で回答したお子さんは、朝ごはんを食べますか？（1つに○）

ア 毎日食べる イ 時々食べる ウ ほとんど食べない

※スナック菓子・サプリメントは含まない

問3 問1で回答したお子さんは、主にどんな内容の朝ごはんを食べていますか？

※週に3日以上食べている項目に「○」を、食べていない項目に「×」を記入ください

ア 主食（ご飯・パン・シリアル）

イ 主菜（卵・肉・魚類など）

ウ 副菜（野菜類など）

エ 汁物（味噌汁・スープ類）

オ 牛乳・ヨーグルトなど

カ 果物類

問4 問1で回答したお子さんは、朝食を主に誰と一緒に食べますか？（1つに○）

ア 家族と一緒に

イ 兄弟姉妹だけで食べる

ウ ひとり

問5 問1で回答したお子さんの平日の起床時間は何時が多いですか？（1つに○）

ア 午前6時前 イ 午前6時～7時 ウ 午前7時～8時 エ 午前8時過ぎ

問6 問1で回答したお子さんの平日の就寝時間は何時が多いですか？（1つに○）

ア 午後8時前 イ 午後8時～9時 ウ 午後9時～10時

エ 午後10時～11時 オ 午後11時過ぎ

問7 PTAの取り組み事業として興味をお持ちなのは何ですか？

（各ジャンルから気になるものに○ 複数可）

●基本的な生活習慣・家庭教育

ア 食事 イ 睡眠 ウ 学校生活 エ 友人関係 オ 学力向上

カ しつけ キ 親子の時間

●携帯電話・インターネット

ア メール イ SNS（LINE ツイッターなど） ウ フィルタリング

エ オンラインゲーム

●安心・安全

ア 通学路 イ 不審者 ウ 地域連携 エ 自然災害

●いじめ問題

ア 研修・講演会・調査 イ ネットいじめ ウ 道徳、モラル

エ 学校での指導・対策

●不登校・ひきこもり

ア 研修・講演会・調査 イ 家庭での対応 ウ 学校での指導・対策

(2) 11月10日(木)開催の「子育てセミナー2016」参加者に向けた調査票

《お子様について》

現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は何年生ですか？

ア 小学校 1-2 年 イ 小学校 3-4 年 ウ 小学校 5-6 年 エ 中学生

《子育てセミナーについて》

【問1】 本日のセミナーについて、講演の内容はいかがだったでしょうか？

ア 大変よかった イ よかった ウ ふつう エ よくなかった
オ わからない

【問2】 曜日の設定はいかがだったでしょうか？

ア 平日でよかった イ 土・日がよかった ウ どちらでもかまわない

【問3】 講演の感想またはご意見をお書きください

【問4】 今後の子育てセミナーで聞いてみたいジャンルはありますか？（複数選択可）

ア 家庭教育 イ 食育・健康 ウ 学校教育 エ 組織運営 オ 地域連携
カ 広報活動 キ 安全・安心 ク 国際理解 ケ 人権教育 コ 生活習慣
サ 学力向上 シ 携帯電話・インターネット ス その他（フリー回答）

【問5】 今後の子育てセミナーで聞いてみたい講師・内容はありますか？

《携帯電話について》

現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は専用の携帯電話はお持ちですか？

ア 持っている イ 持っていない

「ア 持っている」とお答えの方にお伺いします

●利用しているSNSや機能は？（複数選択可）

ア LINE イ Facebook ウ Twitter エ 携帯メール
オ ゲームアプリ カ 通話のみ

「イ 持っていない」とお答えの方にお伺いします。いつごろ持たせようと思いますか？

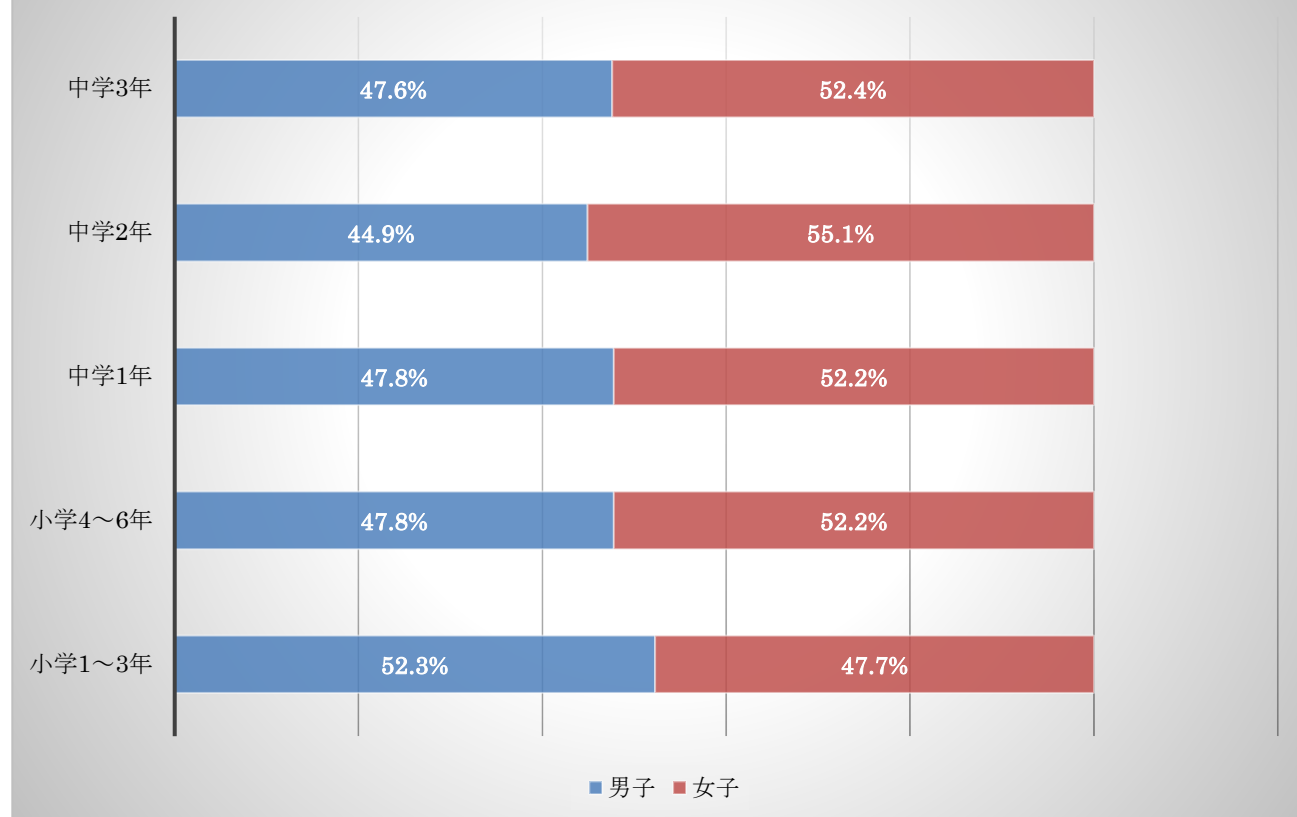
ア 高校卒業時 イ 高校入学時 ウ 中学入学時
エ 欲しいといわれたらすぐにも オ 必要性を感じたとき

Ⅱ 平成28年度 栃木県内25校のPTA会員 を対象とした調査結果

1 調査人数とお子さんの学年

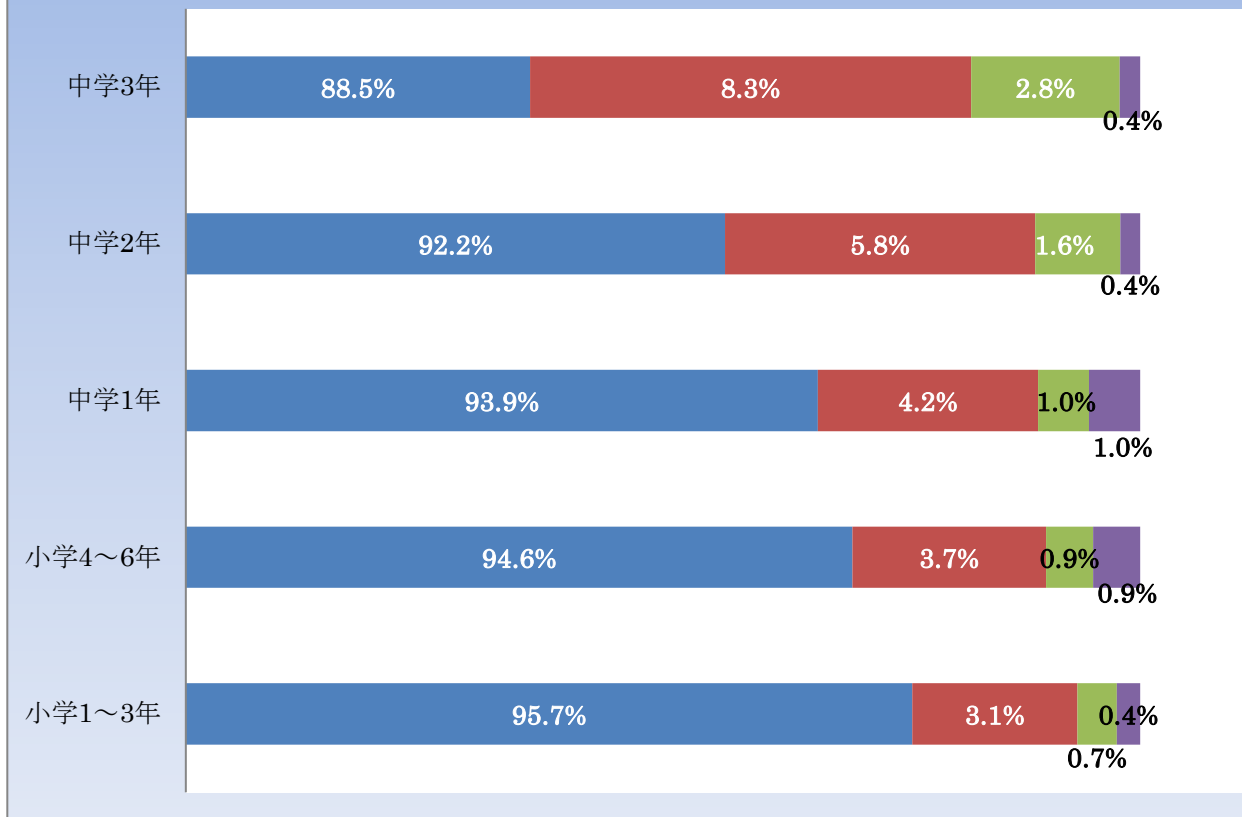
小学低学年	小学高学年	中学1年	中学2年	中学3年	合計
1349名	1013名	1036名	1060名	1034名	5492名

お子さんの性別



2 朝食を食べますか

■ 毎日食べる ■ 時々食べる ■ ほとんど食べない ■ 回答なし



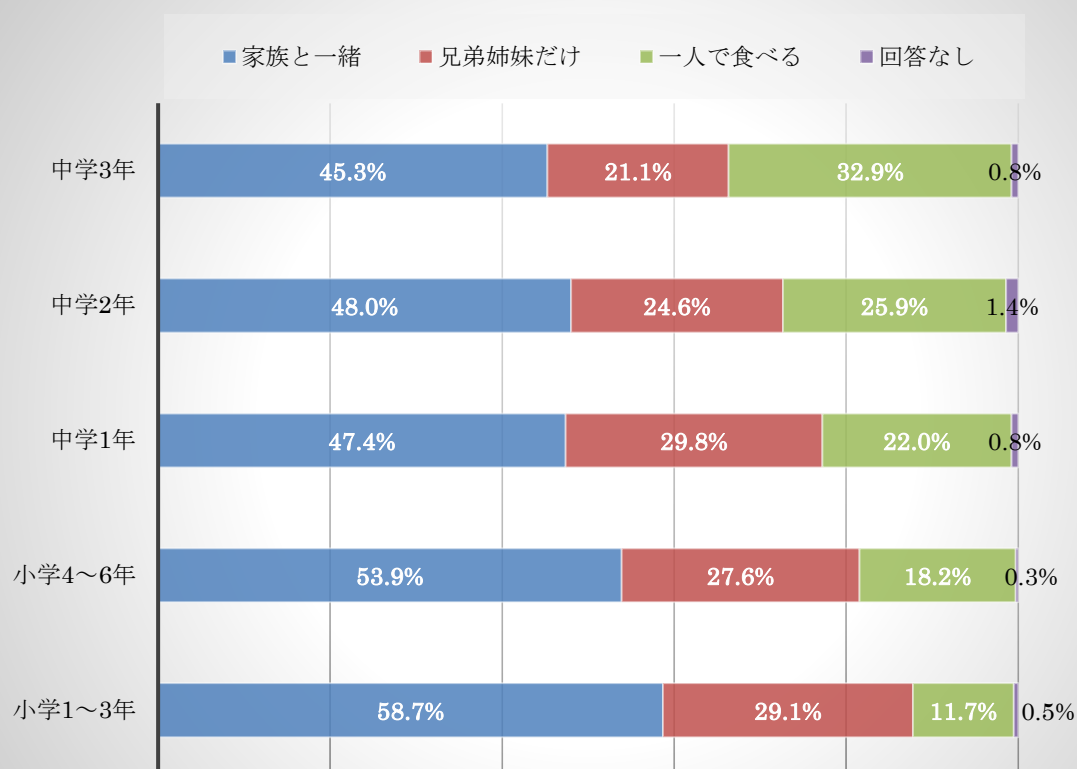
小学生の95.1%、中学生の91.2%が朝ごはんを毎日食べています。「ときどき食べる」を合わせると、小学生で98%、中学生で97.3%と非常に高い割合になります。「平成27年度家庭教育に関する調査研究報告書」（栃木県PTA連合会）の小学生98%、中学生96%と比較しても同じような傾向ですが、中学生で朝食を食べる生徒の割合が1.3%増加しています。

この結果は、早寝早起き朝ごはん運動（文部科学省）の趣旨や朝食摂取率と学力の関係（平成27年度 全国学力・学習状況調査）（「食育について」栃木県教育委員会）を家庭や地域、行政や学校が理解し、子どもたちのために実践して下さっている成果であると考えられます。

しかし、学年が上がるにつれて朝ごはんを毎日食べる割合が減ってきていることも現状として残っています。理由としては、夜遅くまで塾や勉強、部活やスポーツ少年団などの活動、またインターネットやゲーム、SNSなどを行っている結果、朝起きられないことが考えられます。核家族化や両親の共働きの増加により、朝早くから親がいないことなども考えられます。

特に成長期の子どもたちが朝食を摂らないことは憂慮すべき点だと思われます。朝食摂取の大切さを今後も伝えていくとともに、朝食の内容のアンケートの結果にもあったような、簡単に食べられる物を、工夫して食べるように出来れば、子どもの成長と忙しい家族の時間、双方を助けられるものと考えられます。

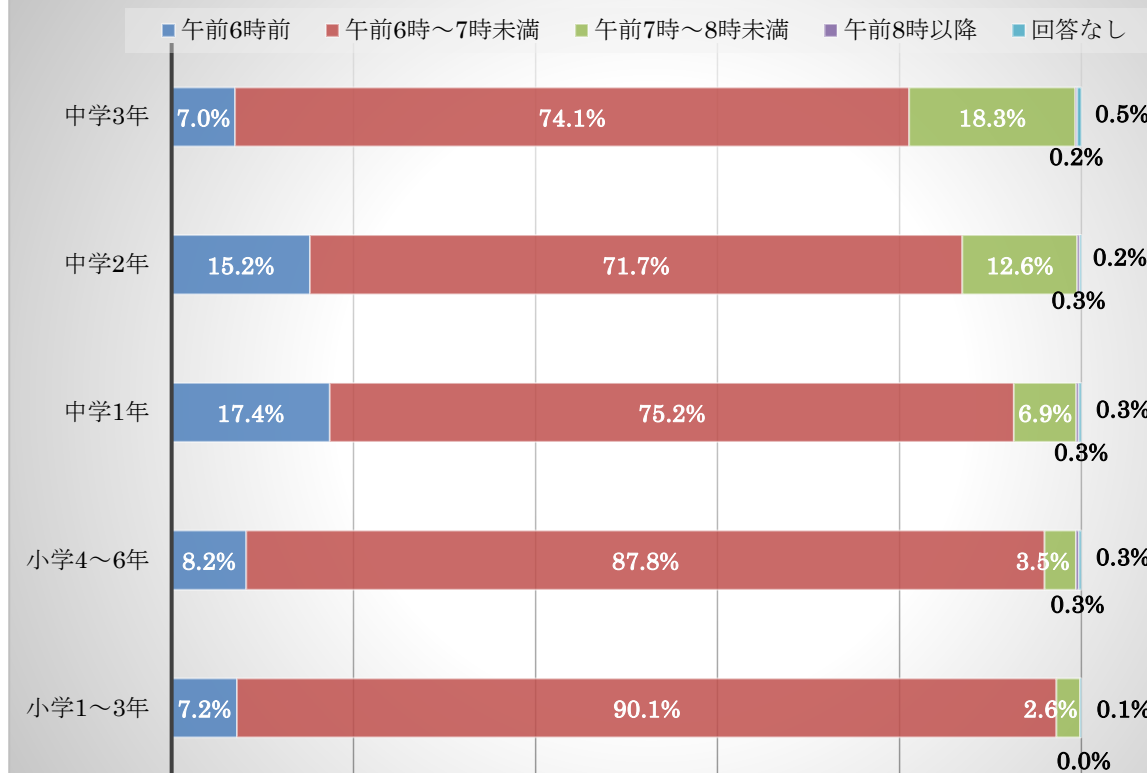
3 朝食を誰と一緒に食べますか



各学年ともに「家族と一緒に」という回答が一番多くなっています。また、学年が上がるにつれて「ひとりで食べる」割合が多くなっていますが、兄弟姉妹がともに小学生の時代は一緒に朝食を摂れるが、上の兄弟姉妹が中学生になると、起床時間や登校時間、部活動の朝練などがあり、時間が異なってくるために一緒に食べる時間が減ってくるものと思われます。また、居住する地域や祖父母との同居なども関係しているものと思われます。

日々の生活において、保護者が用意した食事と自分で用意した食事では、栄養バランスや質、量などにおいて、差が出てくるものと考えられます。心身ともに成長する大切な時期において、忙しい時間の中でも、コミュニケーションをとりながら朝食を摂る機会を設けることができるような工夫が必要と思われます。

4 平日の起床時間は何時が多いですか

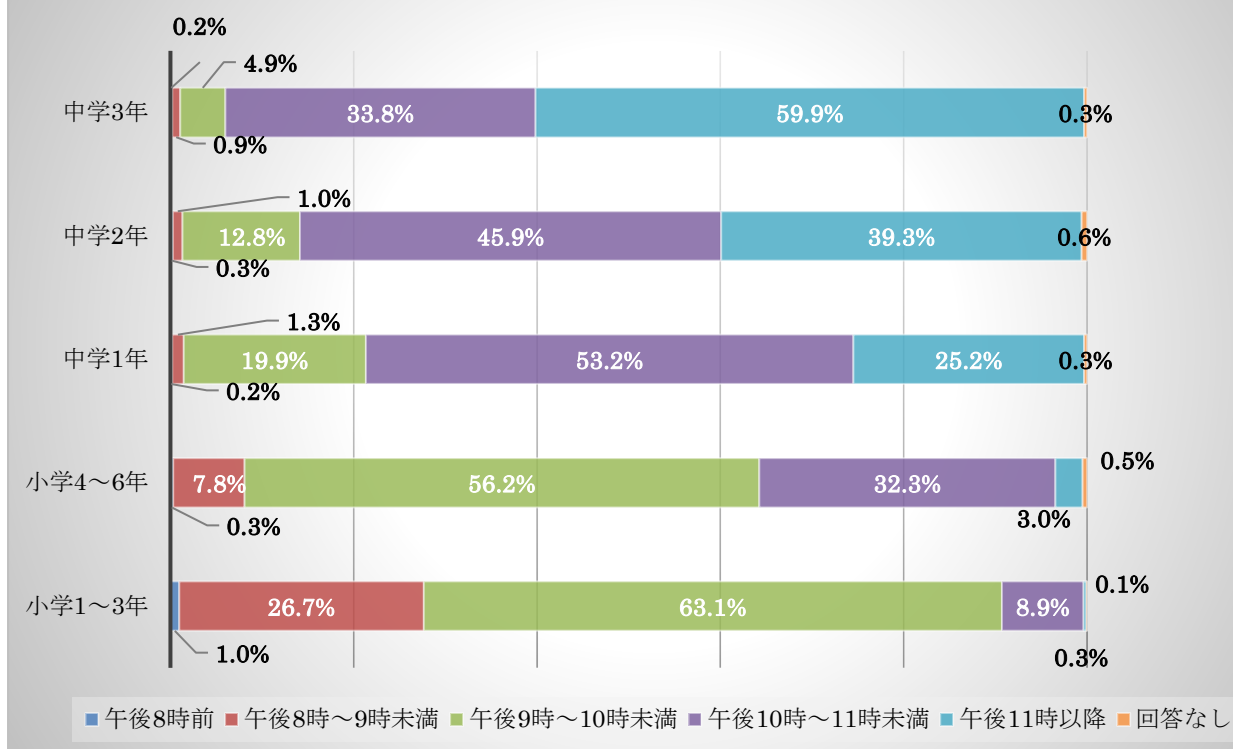


どの学年の子どもたちも「午前6時～7時未満」が一番多く、登校までの準備や朝食をとるにも十分な時間だと思います。

中学1～2年生は、「午前6時前」の割合が他学年と比べて約2倍と多くなっています。これは、部活動の朝練のため、また、通学時間が長くなるためと考えます。

中学3年生では、受験勉強のため塾通いも増え、就寝時間が遅くなったことにより、起床時間が遅くなるのではないのでしょうか。この場合でもできる限り早く寝て疲れをとり、早起きをして受験勉強も良いかと思います。 ごくわずかですが、午前8時以降の子どももいるので、家庭と学校が連携して生活のリズムを全体で見直し、意識していくことが大切だと思います。

5 平日の就寝時間は何時が多いですか



就寝時間で「午後9時～11時」の時間帯が全体の66%と睡眠時間の確保されていない傾向にあります。

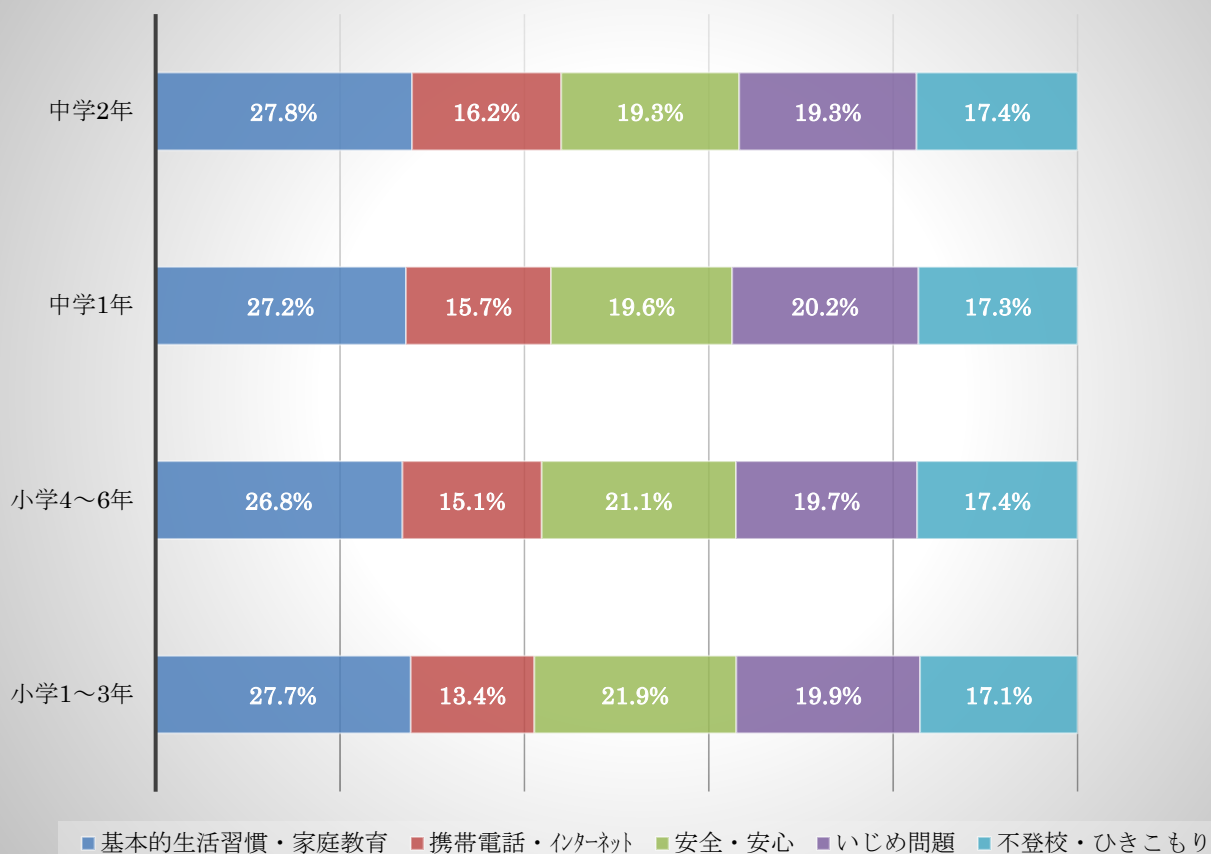
小学生低学年は「午後8時～10時」の時間帯、高学年は「午後9時～11時」の時間帯で91%になり、就寝時間が遅くなる結果が得られました。

中学1・2年生は「午後10時～11時」が最も多くなり3年生になると受験モードに入るので、「午後11時以降」が最も多くなっていますが、一方でSNS等の利用時間にも注視していく必要があります。7.5時間の睡眠時間を確保することで翌日の授業を集中して受けられ、家庭や塾での学習効果もあがるようです。

また、子どもたちと上手にコミュニケーションをとりながら、自ら規則正しい生活習慣を身に付けさせ、毎日がベストコンディションで元気な生活が送れるように、しっかりサポートしていきましょう。

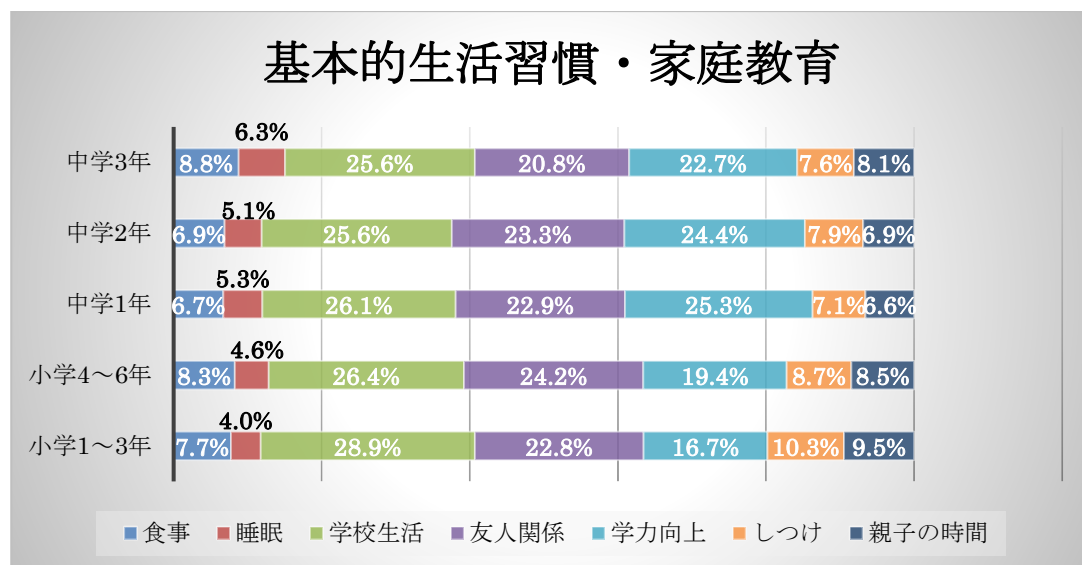
- ・睡眠時間の他に睡眠の質も重要だと言われています。
- ・眠る直前まで携帯・スマホを操作していると脳が休めず、睡眠の質が悪くなるとされています。

6 P T Aの取組事業として最も興味をお持ちなのは



(1) 基本的生活習慣・家庭教育

多くの保護者が子どもの学年を問わず、学校生活や友人関係に興味を持っています。また、学年が上がるにつれて学力向上への関心も高まっています。小学生では、しつけや親子の時間も大切にしているようです。

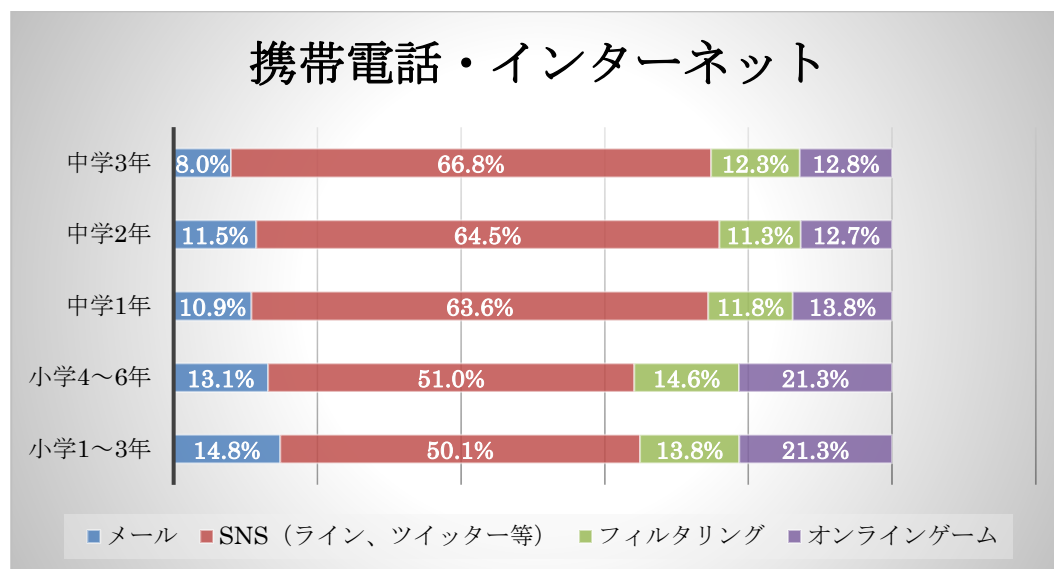


（２） 携帯電話・インターネット

全ての選択肢において、低年齢化の傾向が見られます。特にフィルタリングでは、平成２６年は中２の割合が１２％（中学２年生全体）でいちばん多かったのに対し、平成２７年では小学１～３年生が１１％（小学１～３年生全体）と全体の中では最も高い割合となっています。

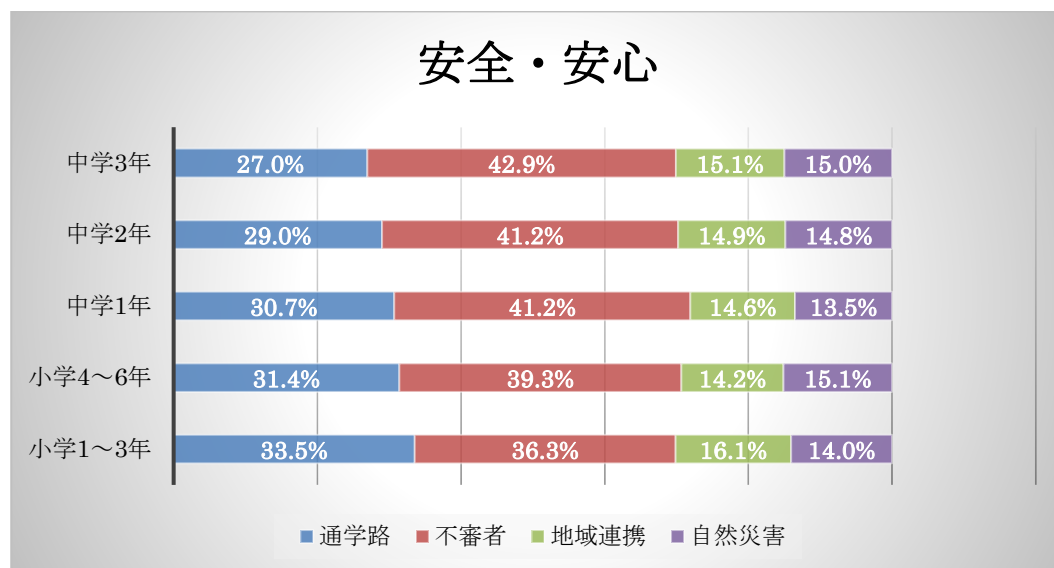
また、最も関心の高いＬＩＮＥについて、平成２６年は中学２年生の割合が３６％に対し、平成２７年も中学２年生が最も高く４２％とさらに興味が高まっているようです。

このようなことから、保護者には携帯電話やスマホ所持の低年齢化に対する不安が、間違いなく進んでいるものと思われます。



（３） 安全・安心

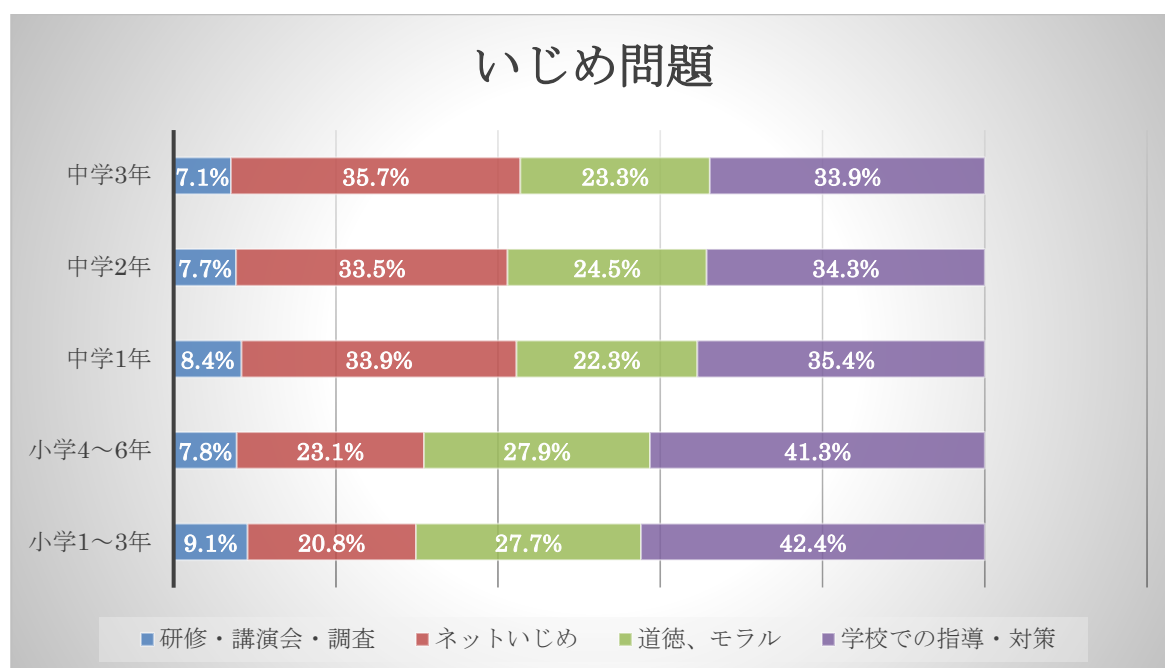
いずれの項目も高い関心を示していますが、その中でも「不審者」が最も高く、「通学路」が続きます。頻繁に報道される不審者に関する情報や児童生徒が巻き込まれる交通事故に対して、不安を抱える保護者が多いことが伺えます。



(4) いじめ問題

どの学年の保護者も最も関心を持っているのは「学校での指導・対策」でした。次に多かったのは小学1～6年生では「道徳・モラル」、中学1～3年生では「ネットいじめ」となりました。これは正に今の子どもたちを取り巻く環境がそのまま出た結果ではないでしょうか。トラブルは、小学生に関しては友達同士の「人対人」に、また、中学生に関しては目に見えない「ネット」に発生するようです。

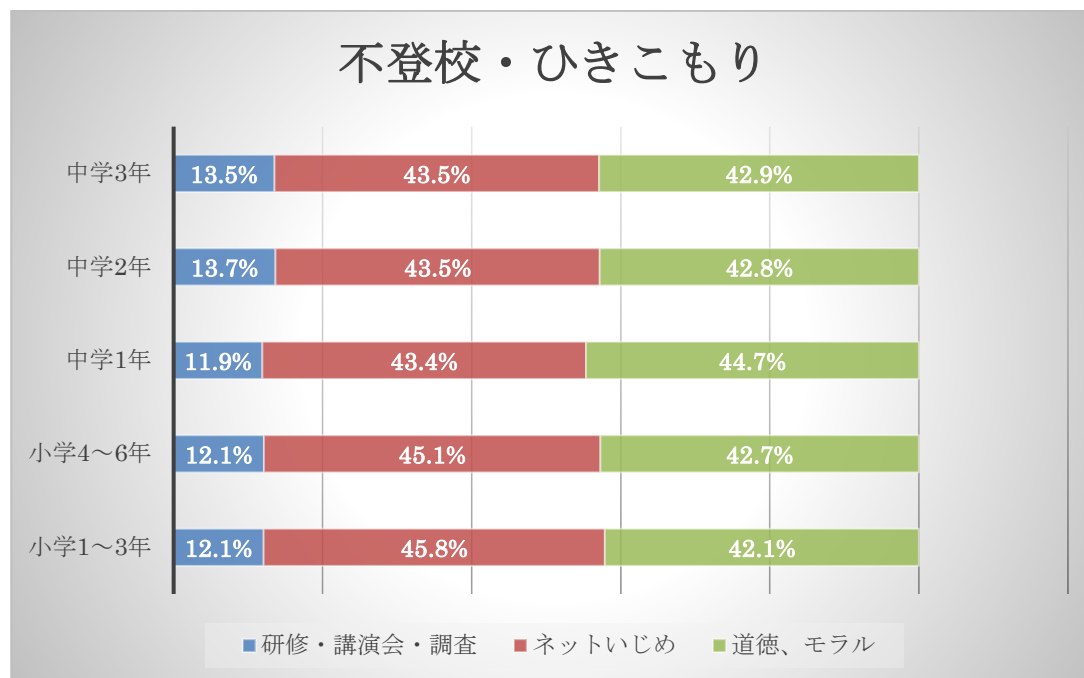
「いじめ問題」に関しては、メディアでのさまざまな情報により保護者自身も不安になっているのではないかと感じました。子どもにとって一番のコミュニティは学校です。「いじめ」に対する指導や対策を強く望んでいるようです。また、親同士のコミュニケーションも大切です。親同士が仲良ければ子ども同士のいじめは起こりにくいと思われます。



（５）不登校・ひきこもり

全ての分野で、中学１年生の割合が一番高い結果になっています。環境が変わった不安など、子どもの目線で対話していくことが大切なのではないでしょうか。

また、「学校の指導・対策」への関心は全学年で４割に達しています。学校と家庭で連携をとっていくことが大切だと思われます。



ロゴマークの意味



IJIME 0（いじめゼロ）の頭文字 I・J・M・0 を意匠化しました。二人の子どもが向き合い、ほほえみを交わしながら、大切な芽を共に育てていく姿がモチーフです。芽は、子どもたちの「友情」を表しています。

（作者の創作の意図より）

Ⅲ 「いい親の日」宣言

平成18年12月に改正された教育基本法に「子どもの第一義的責任は保護者にある」と記され、家庭教育力向上のためのさまざまな取り組みがなされております。

高度情報化、グローバル化、それに伴う価値観の多様化など、社会の変わりようは我々保護者の子どもに対する関わり方に大きな変化をもたらしており、私たちはこれらに対しさらなる奮起が求められております。

これまで私たち栃木県PTA連合会は親の学びの大切さを訴え続け、長年にわたり子育てセミナー等を通してその学びの拡充を図ってまいりました。

そこに一定の成果を残すものの、それを上回る速度でさまざまな問題が次々と発生しており、学校に任せきりの現状を打開することが喫緊の課題となっております。

ここに改めて教育責任の分担確認と保護者の資質向上のため、11月8日を「いい親の日」と制定いたします。また、毎月8日を「親の日」とし、下記の指針を示します。

- 一、子どもを大切にします
- 一、家族団らんの時間を持ちます
- 一、おとな自ら規範を示します
- 一、正しい生活リズムをつくります
- 一、人の悪口を言いません

IV 平成28年度 「子育てセミナー2016」 の参加者を対象とした 調査結果

子育てセミナー2016

「続、母親だからできること」
～安心して子育てをするために～

日時：2016年11月10日（木）

13：00～15：30

場所：栃木県教育会館大ホール

講師：高濱 正伸 氏



身振り手振りを交えて講演する高濱正伸氏

【講師プロフィール】

1959年熊本県生まれ。

東京大学在学中から塾講師や幼児の野外活動の指導者などのアルバイトを経験。

同大学院修了後、小学校低学年向けの「作文」「読書」「思考力」「野外体験」を重視した学習教室「花まる学習会」を設立。

同時に、ひきこもりや不登校児の教育も開始。

その後、小学4年生から中学3年生対象の進学塾「スクールF C」を設立。公教育の支援や障がい児の学習支援なども行っている。

1 講演内容

【お母さんのニコニコカード】

昔は近所のおばちゃん軍団や、ゆりかご軍団がお母さんの周りにたくさんいて、地域が子育てをサポートしてくれた。しかし、戦後そういったコミュニティが徐々になくなってしまった。でもお母さんにはそういった「関係」が必要。それはママ友でもよいし、仕事仲間でもよい。自分の母や姉妹でもよい。

イクメンなんてなかなかできない。子育てはあくまでお母さんが中心。動物の場合、夫は子どもが生まれるといなくなる存在。人間の場合、夫婦で支え合っていく。お父さんはお母さんのニコニコカードをどれだけ知っているか。お父さんはお母さんのニコニコカードを引き出すカードを常に意識する必要がある。ねぎらい、うなずき、わかってあげることが大切である。

【父と子の遊びを作り出す】

子どもとの遊び方がわからないお父さんが増えている。子どもたちが遊んでいる公園の隅で、ベンチに座ってスマホをいじっている父親がいる。これはもう「危機」。そういった遊べないお父さんが活躍できる場として「親子探偵団」などのイベントを開催している。一生懸命に我が子と遊んでくれるお父さんは、お母さんにとって子育ての仲間。そんなお父さんを見て、お母さんはニコニコになる。

【正しい子育てという幻想】

子育てに正解はない。その夫婦が決断する子育てがあるだけ。正しい子育て幻想は捨てよう。

【叱り方原則】

お母さんは素晴らしい存在でお父さんは全くかなわない。しかし、お母さんの弱点と言えるのが叱り方。厳しく・短く・後を引かず。母親の叱り方は低い声で、能面のように真顔で行う。叱り方で成功すると子育てがほんとうに楽になる。

【一人っ子は旅に出す】

一人っ子はどうしても兄弟関係がないことから社会経験が不足する。小学生くらいになったら、おばあちゃんやおじいちゃんの家など、どんどん旅に出すこと。

【「我が家はふつう」を疑う】

子育ては一人でやってはいけない。いろいろな人に見てもらいながら、指摘されながら。周りには指摘してあげなければならない。それはお父さんの仕事でもある。

◆参加者の声

- ・ユーモアを交えながら具体的な事例を挙げての講演は、あるあると思いながら大変参考になりました。
- ・話の中には耳が痛い内容もいくつかあったが、自分の子育てを再認識ができたことに感謝です。
- ・話題が豊富でたくさん笑わせていただき、とてもリフレッシュできました。
- ・主人にも聞かせてあげたい。

(出典) とちぎPTA新聞194号より

2 調査人数とお子さんの学年

参加者 約700名

小学低学年	小学中学年	小学高学年	中学生	合 計
16名	58名	64名	148名	286名

子育てセミナー2016 会場アンケートより

3 携帯電話について

(1) 現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は専用の携帯電話はお持ちですか？

ア 持っている イ 持っていない

(2) 「ア 持っている」とお答えの方にお伺いします

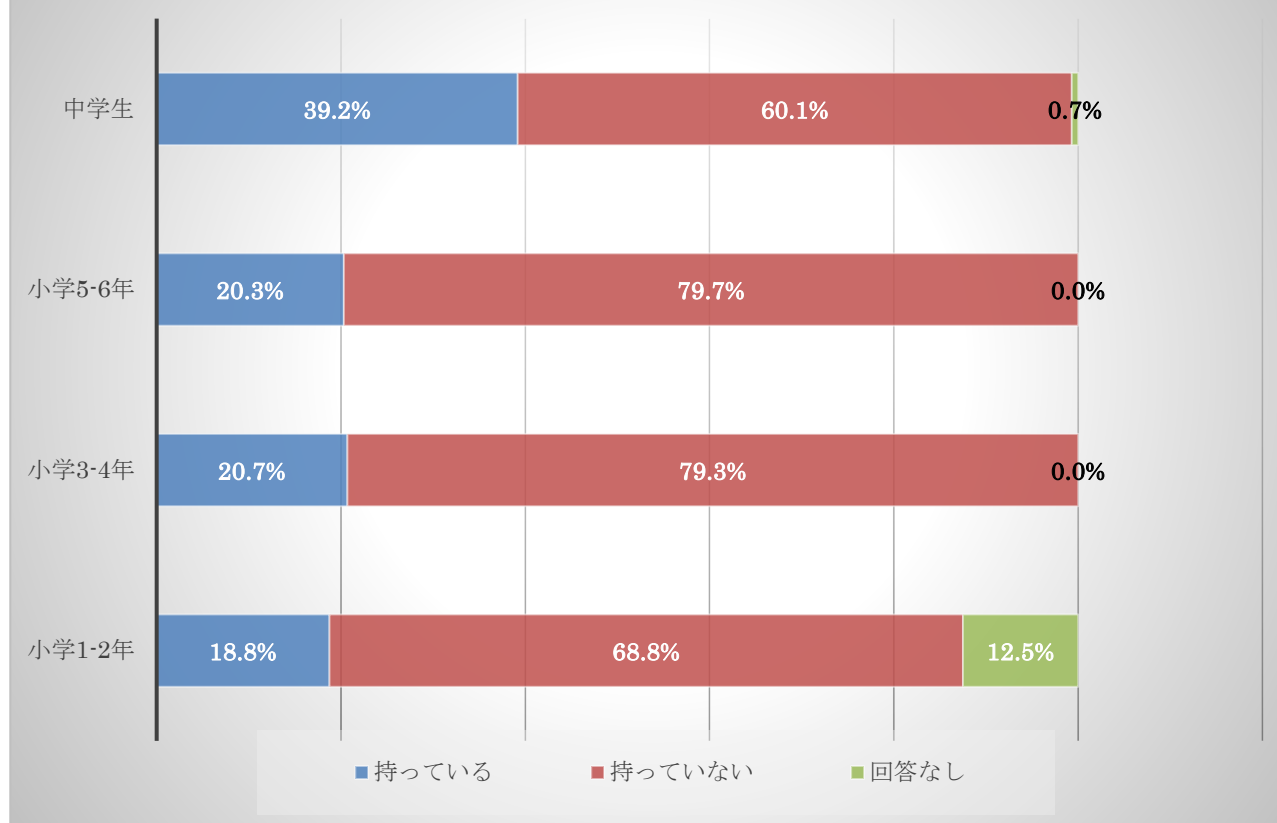
利用している SNS や機能は？(複数選択可)

ア LINE イ Facebook ウ Twitter エ ブログ オ 携帯メール カ ゲームアプリ
キ 通話のみ

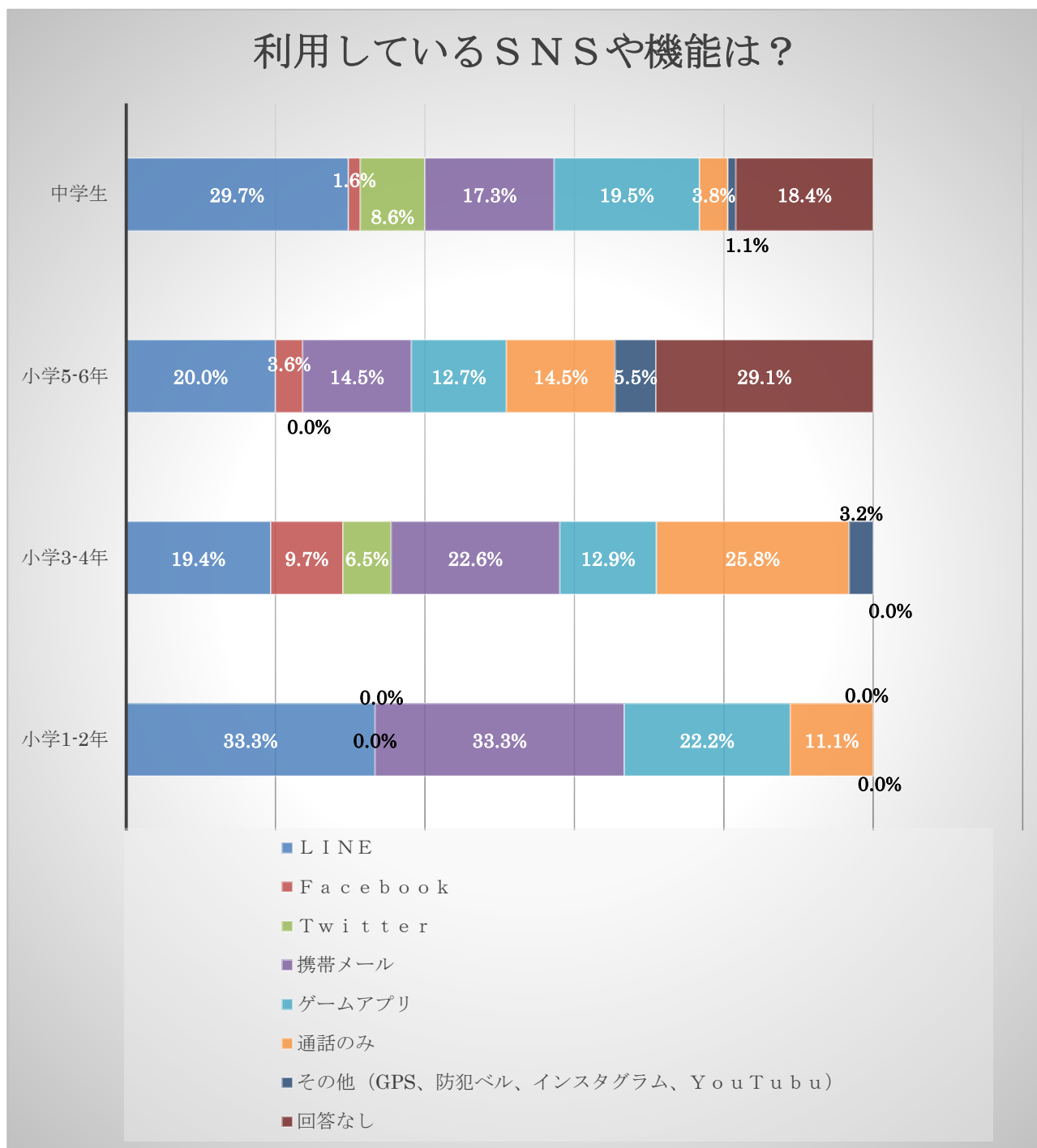
(3) 「イ 持っていない」とお答えの方にお伺いします。いつごろ持たせようと思いますか？

ア 高校卒業時 イ 高校入学時 ウ 中学入学時 エ 欲しいといわれたらすぐにも

お子様は専用の携帯電話をお持ちですか？

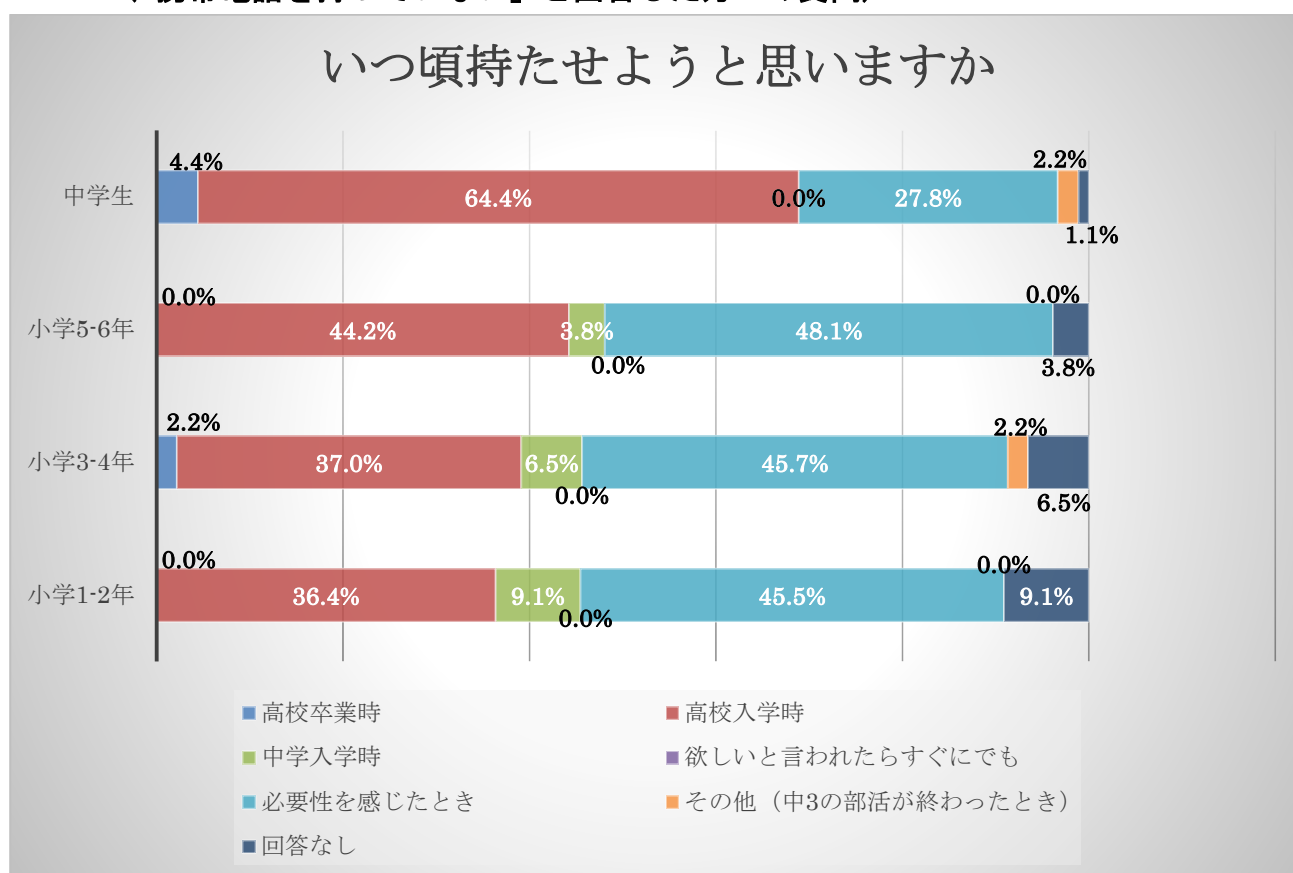


4 利用しているSNSや機能は何ですか （「携帯電話を持っている」と回答した方への質問）



5 いつ頃持たせようと思いますか

（「携帯電話を持っていない」と回答した方への質問）



中学生になると約4割の子どもが携帯を所持していることから、小学校高学年から中学生にかけて、さまざまな環境の変化により、携帯を所持させる必要性が出てくると考えられます。また、安全面や生活環境によって携帯の所持率は増えていると思われます。

いつ頃持たせるのが良いかでは、高校入学時と考えている方が多いが、実際は携帯所持の低年齢化は進んでいます。これは周りが持ってるとか、両親の勤め、塾通い等家庭環境の多様化が考えられます。

利用している機能も通話のみは少なく、半数以上はSNSを利用しており、学年が上がるにつれSNSをコミュニケーションツールとして利用していると考えられます。

一方で、各学年層においてゲームアプリの利用も高い割合を示しており、遊びのための利用頻度が高いツールであることも認識しておく必要があると思います。

最近では学校等で携帯電話の危険性などの教育が多くなされており、利用や方法に関しては安全にどう使っていくかは家族を含めて、勉強し話し合っていくのが良いと考えます。

携帯でなくてもインターネット環境は多くあり、規制することは難しく、携帯を持たせた後の保護者の関わり方が重要だと考えます。SNSやゲーム等では見えない、知らない交友関係が広がることも同様です。

また、手元に置いておかないと不安など、常に携帯があることから家庭学習などにも大きく影響していると思います。さらに就寝時間が遅くなるなど生活環境の乱れにもつながります。

持たせないといということが難しいのであれば、家庭でのルールをしっかりと決め、保護者も共有できる環境で子どもたちに上手に使わせていくことが大切だと考えます。

この冊子の内容を無断転載することを禁じます

平成29年6月発行

栃木県PTA連合会

320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番地6号

栃木県教育会館内

TEL 028-622-2833

FAX 028-622-2834

URL <http://www.tochigi-pta.gr.jp>